

動物ふぁいる No.60  
生き物ずかんかごしま水族館  
オニダルマオコゼ

【かごしま水族館 ☎226-2233 FAX223-7692】



浅瀬のサンゴ礁に生息するオニダルマオコゼは、周囲の環境に溶け込む達人です。場所を移動するとき以外はほとんど動かず、体にヤドカリが登ってきてもじっとしています。表皮の質感や色は、近くで見ても岩そっくりで海藻までくっついていて、丸々とした体形ですが、器用に砂を掘って隠れることができ、気付かずに通り過ぎようとした魚を一瞬で食べてしまいます。背びれには猛毒を持つとげがあるため、気付かずに人が踏んでしまうと命に関わることもあります。

オニダルマオコゼは当館2階で展示しています。愛らしい体形に反して、ジロリとにらんでいるかのような目も特徴的なオニダルマオコゼをぜひご覧ください。

かごしまフォロワー  
かごフォロシンガー・ソングライター  
東郷 さくら さん

【広報課 ☎216-1133 FAX216-1134】



今月は、シンガー・ソングライターとして鹿児島市を拠点に活動している東郷さくらさんにインタビューしました。

祖父母が始めた創業94年になる家業を両親と守りながら、自分が生まれた町であり、自分のルーツである鹿児島市で、プロのシンガー・ソングライターとして活動をしています。

本格的に活動を始めたのは、30代になってからです。オーストラリア横断一人旅で、現地の人に勧められ、路上ライブしたときの解放感が、自分の好きな歌への追求を今も後押ししてくれています。

東日本大震災をきっかけに、「自分も行動を」と、カフェで弾き語りライブを始めました。公の場で歌う機会が増える中で、2014年に初のCDをリリース。地元企業のCMソングなども手掛けるようになりました。

この10年で思うことは、「全ての物事はつながっている」ということ。思うように動けない日々でも、動かないことで分かることもあります。真実を真っすぐに受け止め、今できることを、一つ一つ、丁寧に続けることで、見えてくる未来。

過去の事実は変えられないけれど、地道に築く未来が、その過去の意味を変えてくれる。それが私にとっての勇気と原動力です。

(インタビューの詳細は広報課フェイスブックなどでチェックを)

学芸員オススメ! No.77  
市立美術館の逸品

## ふじしまたけし 『鳥羽の日の出』

【市立美術館 ☎224-3400 FAX224-3409】

## 理想の日の出を求めて



三重県の朝熊ヶ岳から鳥羽の海岸を望む日の出の風景が描かれています。朝がすみに包まれた山並みは細部が省略され、空と海と山に大きく3分割して単純化された構図は、どこまでも続くような空間の広がり表現しています。水平線すれすれに現れた柔らかい光を放つ太陽からは、今まさに一日が始まろうとする瞬間の静けさを感じられます。

明治から昭和にかけて日本の洋画界をけん引した藤島武二は、1928年に昭和天皇即位を祝う学問所の油彩画制作を宮内庁から依頼されました。日本を象徴するのにふさわしい日の出を描こうと考えた当時60歳の藤島は、理想の日の出を求めて国内外へスケッチ旅行に出かけました。このスケッチ旅行は、1937年に油彩画「旭日照六号」が完成するまで約10年間にわたって続き、晩年の藤島が壮大な風景という新しいテーマを見つけ、風景画の第一人者としての地位を確立するきっかけになりました。

## ひろばサポーターがゆく

## 錦江湾公園

【公園緑化課 ☎216-1368 FAX216-1352】

## 花々が出迎えてくれる錦江湾公園

今回は、季節の花を楽しみながら散策できる「錦江湾公園」を紹介します。20haもの敷地を持つ同園。市制100周年記念のイベント「サザンピア21」



の会場に設置されたH-II ロケットの実物大模型を移設した広場、桜島と錦江湾を一望できる展望所のほか、宇宙をテーマにした遊具もあり、子ども連れの家族にお勧めです。

散策と一緒に楽しめるのが季節の花々で、これからの注目はバラとシャーレポピー。「香りの散歩道」エリアのバラ園では、なだらかな丘に広がる約240種類のバラが見られます。定番の赤色から、白、黄、ピンクなど、大きさも色も異なるバラが、鹿児島の気候に合うように大切に育てられています。また、取材時はちょうどシャーレポピーが咲き始めており、薄紙のような真っ赤な花びらが風でなびく様子は涼しげで、散策のお供にぴったりだと思いました。

そんな花々を楽しめるイベントが、5月15日・16日に開催される「錦江湾公園はなまつり」。自分で探した四つ葉のクローバーをしおりにするコーナーや、季節の花苗の配布などがあり、楽しみにされている人も多いそう。バラの成長が例年より早く、当



日はピークを過ぎているかもしれませんが、ペチュニアやマリーゴールドなど12種1500本のフラワーポットも出迎えてくれます。色とりどりの花を見て、香りも楽しみながらお散歩してみませんか？

ひろばサポーター  
石塚